

報道関係各位

2019年4月吉日

筑波大学生アスリート向け研修を TUJ で実施 「スポーツ・マネジメントにおける グローバル・リーダーシップ・プログラム」



テンプル大学ジャパンキャンパス(東京都港区/学長:ブルース・ストロナク、以下 TUJ)は、筑波大学(茨城県つくば市/学長:永田恭介)アスレチックデパートメント(以下 AD)が同大学生アスリート向けに推進する短期集中講座「スポーツ・マネジメントにおけるグローバル・リーダーシップ・プログラム(以下、GLP)」を企画・実施



しました。GLP は筑波大 AD が 2019 年夏季に予定している米テンプル大フィラデルフィア本校での短期米国研修へ向けた準備講座として、3月16日、23日の2日間にわたって TUJ 麻布校舎で行われました。筑波大から硬式野球部、男女ハンドボール部所属の7人の学生アスリートが参加し、英語で日米の大学スポーツの相違について学んだり、将来の日本の大学スポーツについてディスカッションをしました。

<本件取材に関するお問い合わせ>

テンプル大学ジャパンキャンパス 広報・マーケティングサポート部 広報担当：三田

電話：03-5441-9801 メール：tujpr@tuj.temple.edu

Page | 1



講座 1 日目は、「グローバルリーダーとは」といった理念的なテーマから始まり、全米体育協会 (NCAA) の仕組みや役割、また米国の大学におけるスポーツへの取り組みや学生アスリートに対する支援体制などについて学びました。2 日目は、日本の大学におけるスポーツの位置づけや取り組みについて学び、日米大学スポーツの相違について考え、最後に将来の日本の大学スポーツについて討論・ディベートが行われました。両日とも、講師と 3 人の現役 TUJ 学生がティーチングアシスタント (TA) として

参加し、筑波大学生アスリートの学びを支えました。

参加学生からは、「2 回の授業とも、1 日中を通して英語を活用してアメリカのスポーツについて学ぶ体験がとても刺激的でした。また、自分自身、英語を使って外に発信することが、いかに難しく大変であるかを知り、もっと慣れなければ、と感じました」、「内容が本当に難しかったけど、自分の意見を出して、人の意見を聞いて、少しずつ話を広げていく過程が楽しかった。このプログラムに参加できて本当に良かった」などの声が寄せられました。



今回の講座は、筑波大 AD が 2019 年 7 月に予定している米テンプル大フィラデルフィア本校での短期講座をはじめとする米国内での研修に役立てるのがねらいで、講座の内容は TUJ アカデミック・イングリッシュ・プログラムが開発しました。

筑波大 AD では、日本のスポーツ産業をアスリートとして、また産業を支えるビジネス界のトッププレーヤーとして次代を担う人材の育成に注力し、本講座および夏季の米国研修を、グローバルな視点を養うための重要な学びの機会のひとつとして位置づけています。



講座一日目



講座二日目

テンプル大学ジャパンキャンパス (TUJ) <http://www.tuj.ac.jp/>

米国ペンシルベニア州フィラデルフィアにあるテンプル大学の日本校で、1982 年に東京で開校しました。外国大学の分校として日本で最も長い歴史と最大の規模を誇り、2005 年には文部科学省から外国大学の日本校として初めて指定を受けました。米国式カリキュラムに基づき、大学学部課程、大学院課程（教育学修士・博士課程、ロースクール、エグゼクティブ MBA プログラム）、アカデミック・イングリッシュ・プログラム、生涯教育プログラム、企業内教育プログラムの 7 つの課程で、世界約 60 か国から約 4,100 人が学んでいます。

<本件取材に関するお問い合わせ>

テンプル大学ジャパンキャンパス 広報・マーケティングサポート部 広報担当：三田

電話：03-5441-9801 メール：tujpr@tuj.temple.edu